

「発達障がい講座スタンダードの内容の効果検討」

札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがる

■調査報告概要

2020年度調査計画では、発達障がい講座スタンダード研修会（以下、スタンダード）の中身の効果検討を行なった。調査協力者として44名の支援者の方から同意が得られた。調査協力者の方には、スタンダードの前後で支援知識と支援行動をテーマとしたアンケートに回答いただき、回答内容について集計を行った。分析結果からは、支援知識に関して、スタンダードの事前と研修会直後の平均得点に差があり、有意に増えていることがわかった ($F(2, 25)=8.01, p=.002$)。支援行動に関して、スタンダードの事前と研修から約2ヶ月後の平均得点に差が認められ、こちらも有意に増加していることがわかった ($t(23) = 2.82, p = .01$)。このことから、スタンダードの受講が、支援者の支援知識と支援行動に対しポジティブな影響を与えることが認められた。